

藝 振



大分県芸術文化振興会議

No.116

平成16.9

もくじ

梅園哲学の入門舞台	1
大分県芸術文化振興会議40周年記念事業	2
大分県芸術文化振興会議40周年記念事業	3
大分県民芸術文化祭・オープニングステージ	4
・主催行事一覧	4
これから開催される補助事業	5
久留島武彦文化賞〈特別賞〉を受賞して	5
加盟団体活動紹介	6
新役員紹介	7
事務局だより	8

発行人：脇 正人 編集人：安藤啓士（通字：平 誠彰）



梅園哲学の入門舞台

大分合同新聞論説委員長

狭 間 久

芸振の40周年記念に、三浦梅園の『玄語』を基にした舞台をつくりたい、と思いついた民謡・舞踊・音楽など関係者の皆さんにまず敬意を表したい。

梅園は難解と言われる。確かに『玄語』は全文漢字で書かれ、それも梅園の独創的思想を表現するため、特異な用語を使っているからだ。しかし、梅園の言わんとするところは、決して難解ではない。要するに、この世（地球はじめ宇宙全体）はどのようなものか、そこに生きる人間とは何か、といった根源的な問いかけだ。これを現代の我々は哲学と言うが、梅園の時代（1723-89年）の日本では学問として存在しなかった。当時の日本の学問は儒教が中心で、現世の体制下で人としての生き方、君臣・夫婦・朋友などの関係・倫理を追求することだった。教科書は孔子、孟子、老子、あるいは釈迦だった。梅園はそういう先哲を超えた天（宇宙・自然）そのものを追及した。当時の人々に理解されなかったのも当然だった。

梅園は自然を師に、この世（自然・宇宙）はすべて対から成り、従ってこの世を正しく認識するには、対で考えねばならないと知った。例えば人間は男と女の対から成るから、人間を知るには、男だけを見てはいけない、女を同時（同等）に見なければならぬ。つまり一方だけを見るのではなく、必ず対として反する一方を見なければならぬ。これが「反観合一」で、梅園の根本思想だ。

この思想を舞台化して、全国、世界へ訴えかける今回の試みは、一方の正義・大義だけ主張し合って紛争の絶えない現代世界にとって、時宜を得た警告と思う。台本・演出のふじたあさや氏は私の本以外にも相当、梅園を研究され、見事にその思想のエッセンスを舞台に盛り込まれた。梅園哲学の入門舞台として、今回の公演の成功を祈りたい。



国指定重要文化財 玄語手引草（部分）
〈安岐町・三浦梅園資料館にて公開中〉

大分県芸術文化振興会議40周年記念事業

■文芸部門記念講演会

日時：10月3日（日）10：00～12：00

講師：大木俊秀氏

（NHK学園川柳講座編集主幹）

演題：「ことば—その文字と音とリズム」

会場：大分文化会館第一小ホール

入場料：無料

■美術部門記念事業

写真展：9月28日（火）～10月3日（日）

日洋彫工展：10月5日（火）～10月11日（月）

書道展：10月13日（水）～10月17日（日）

会場：大分県立芸術会館

入場料：500円

■記念舞台部門

総合芸術シアター

よみがえれ三浦梅園「玄語」の森

日時：平成16年10月10日（日）開演13時30分

場所：大分県立総合文化センター グランシアタ

特別出演：嵐 圭史（前進座）

構成・脚本・演出：ふじたあさや

音楽：藤原 豊

振付：西田 堯

美術：西山 三郎

照明：坂本 義美

音響：山北 史朗

舞台監督：柳井 萬治郎

チケット：指定席5,000円 自由席2,000円

トキハ会館プレイガイド、芸振事務局で取り扱い



文芸部門

文芸講演会と短詩形文学記念誌の発行

理事 猪俣 呑 童

40周年に当り、文芸部門としては、記念事業として文芸講演会と短歌、俳句、川柳各ジャンルの記念大会入賞作品を収録した短詩形文学記念誌の発行を企画、目下準備中である。

文芸講演会は10月3日（日・10時～12時）、大分市大分文化会館第1小ホールで開催。短文学全般に通ずる「ことば—その文字と音とリズム」の演題で、元NHKアナウンサー、放送局長を歴任、現在、軽妙な話術と文章で活躍中のNHK学園川柳講座編集主幹大木俊秀氏が講演する。

短詩形文学記念誌は、各ジャンルの今回の記念大会優秀作品と歩みなどを収録する本会発足以来はじめてのジャンル合同作品集の発行で、来春3月1日に発刊、県下各市町村等関係機関に配布することになっている。A4判120頁程度。（大分県番傘川柳連合会）



美術部門

県美協40周年を迎えて

大分県美術協会 事務局長 合 田 習 一

県美協は三部会合同して40周年を迎え、記念展として第40回県美展を開催する。写真展初日9月28日に県知事他のご臨席を賜り開幕式の準備をしている。

また、記念式典で名誉会員4名のご功績を称え感謝状を贈呈する。記念誌「大分県美術協会40年のあゆみ」を発行する。各部会とも記念作品集を作るとともに40周年記念賞を授与する。この様に並べると県美協は順風満帆に見えるが懸案は多数ある。20年前の会員数は1146名、現在は2305名（美705、書1061、写539）と二倍強の増加である。展覧会は芸館を使用しているのでスペースは変わらない。作品の大きさを制限したり、一般と会員を春秋に分けて展示する工夫をしたが、これも限界である。全分野の合同展が理想だが、せめて自由な大きさの作品が発表できる会場が実現できる希望を持って50周年を迎えたいものである。



舞台部門

三浦梅園を舞台に

常任理事 佐 藤 朱 音

総合芸術シアター“よみがえれ三浦梅園「玄語の森」”は、総勢300名余りが出演する大舞台です。内外から暖かいご支援を戴きました。東京からのスタッフ、構成、台本、演出担当のふじたあさや先生をはじめ、振付、音楽、美術、舞台監督の先生方には練習日が度々台風襲来とも前後して、ハラハラ致しましたが、真摯に取り組んで頂き、その優しい人柄には地元の皆も感銘を受けましたし、その底力を目の当たりにさせられました。

生涯を国東の山里で送った梅園の天地の条理、反観合一の理法というものを伺ってみると、今、世界が対立の連鎖に震えるような時代だからこそ、一層の重みを増して輝く哲学だと思われまます。三浦梅園と、その郷土への讃歌を通して世界平和を歌おうと、梅園が残した大切なメッセージを、歌い舞い、踊り、大合唱し、出演者の熱演と団結力で、豊の国大分に眠る、調和の伝統世界を呼び起こし、舞台に繰り広げまます。ご期待下さい。

第6回大分県民芸術文化祭



オープニングステージ

「天領ラブソディ・人形師、三吉の恋」

～いつの時代も変らぬ情熱を舞台に表現～

原作脚本 岩 豪 友樹子

私にとって、オープニングステージのオリジナル脚本として三部作目にあたる「天領ラブソディ」は日田が舞台です。天領として栄えた江戸末期を舞台に、いきいきとした町衆のエネルギーをどう表現するかが大きなポイントでした。昔も今も変わらず日田っ子が熱く燃えるのが日田祇園祭。その山鉾には歌舞伎の一場面を再現した人形が乗せられると知り、主人公を人形師にしようと決めました。

演出は、「古代宇佐物語」で私の脚本から不思議な世界を創出した吉祥じゅんさんが担当。燃えるような恋の情熱によって人形作りに命を込める三吉、それを見守る友人たち。いつの時代にも変わらない人の心や情熱を皆様にお届けできたら嬉しく思います。出演者の皆さん、スタッフの方々が祭にも負けぬエネルギーを注ぎ込んだ結晶が舞台に展開されます。日田独特の文化や日田祇園にかける登場人物たちの情熱とともに、コミカルに味付けされた部分も楽しんでいただければ幸いです。

第6回大分県民芸術文化祭行事

オープニングステージ

行 事 名	主催団体	開催月日	開催場所
天領ラブソディ「人形師、三吉の恋」		9月26日(日) 13:30~15:30	グランシアタ

芸術文化フェスティバル

大分県芸術文化振興会議40周年記念 よみがえれ三浦梅園「玄語」の森	大分県芸術文化振興 会議	10月10日(日)	13:30~15:30	グランシアタ
大分県美術協会40周年記念 第40回大分県美術展	大分県美術協会	9月28日(火)~ 10月17日(日)	9:00~17:00	芸術会館
大分県芸術文化振興会議40周年記念文芸講演会	大分県芸術文化振興 会議 文芸部門	10月3日(日)	10:00~12:00	大分文化会館
第36回大分県川柳大会	大分県傘川柳連合会	10月3日(日)	9:00~17:00	大分文化会館
第38回大分県俳句大会	大分県俳句連盟	11月6日(土)	10:00~16:00	コンパルホール
第40回大分県短歌コンクール	大分県歌人クラブ	11月14日(日)	10:00~15:30	つるみ荘
未来工房第23回演奏会 響き合う心-アンサンブルの楽しみ-	未来工房	10月3日(日)	14:00~16:00	コアやまくに
華道家元池坊大分支部合同社中花展	華道家元池坊大分支部	10月5日(火)	9:00~20:00	県立総合文化センター アトリウムプラザ
一人芝居/童謡詩・雨がふります 江口章子と金子みすゞ	大分県民演劇制作協議会	11月21日(日)	18:30~20:30	芸術会館
第34回大分県日本画展	大分県日本画協会	11月23日(火)~ 11月28日(日)	9:00~17:00	芸術会館
第13回おおいたパッチワーク・キルトフェスティバル	おおいたパッチワーク・ キルト協会	11月24日(水)~ 11月28日(日)	10:00~18:00	アートプラザ

創作作品上演

白水郎の詩「故郷へゆめは今もめぐりて」	佐伯文化会館自主事業運営委員会	10月31日(日)	14:00~16:00	佐伯文化会館
---------------------	-----------------	-----------	-------------	--------

ジャンル別研修会

ピアノ伴奏法と演奏法	グループUNO	9月28日(火)	14:00~16:00	芸術会館
水墨画に親しむ	大分県水墨画協会	10月24日(日)	10:30~16:00	アートプラザ
21世紀の童謡に親しむ	21世紀の童謡を創る会	10月30日(土)	13:00~15:00	コンパルホール

これから開催される補助事業

(平成16年10月～平成17年3月)

実施時期	事業名	会場	主催団体
10月1日・11月28日	佐伯市芸術文化祭	佐伯市文化会館他	佐伯文化振興会
10月9日	第44回大分県三曲協会定期演奏会	コンパルホール	大分県三曲協会
10月30・31日	第46回臼杵市秋の文化祭	臼杵市民会館他	臼杵市文化連盟
10月15日	第33回「グループUNO」コンサート	音の泉ホール	グループUNO
10月17日	大分県太鼓連合チャリティコンサート	はさま未来館	大分県太鼓連合
10月17日・2月20日	桜花音楽会	中国 武漢	コール銀河
10月29日～31日	第57回大分県高等学校中央演劇祭	アストくにさき	大分県高等学校文化連盟
10月31日	大分交響楽団創立40周年記念 第28回定期演奏会	グランシアタ	大分交響楽団
11月14日	第35回日本興道吟詩会大分県本部 吟詩舞道大会	市町村会館	関心流日本興道吟詩会大分県本部
11月3～21日	第34回国東町総合文化祭	くにさき総合文化センター他	国東町文化協会
11月3～7日	第7回三重町文化祭	エイトピアおおの他	三重町文化協会
11月5日	第12回歌曲の会演奏会	音の泉ホール	歌曲の会
11月7日	第35回玖珠町文化祭	くすまちメルサンホール	玖珠町文化振興会
11月7日	第41回大分県児童文化祭	はさま未来館	大分県児童文化研究会
11月10～16日	第27回大分県俳画作品展	レインボービル	大分県俳画協会
11月12～14日	第41回山香町総合文化祭	山香町中央公民館他	山香町文化連盟
11月13・14日	第34回津久見市文化祭	津久見市民会館	津久見市文化協会
11月30日～12月5日	新潮流展'04	大分県立芸術会館	新潮流の会
11月21日	第32回都山尺八九州支部連合演奏会	音の泉ホール	都山流尺八楽会大分県支部
11月23日～28日	第39回豊光会展	大分県立芸術会館	豊光会
11月28日	立川清登没後20周年記念 オペラハイライト	大分県立芸術会館	大分県県民オペラ協会
12月23日	第30回大分県アンサンブルコンテスト	音の泉ホール	大分県吹奏楽連盟
12月26日	第20回大分市青少年少女合唱団定期演奏会	大分県立芸術会館	大分市青少年少女合唱団
12月17日	第44回定期演奏会	音の泉ホール	大分大学混声合唱団コールレティツ
平成17年1月25～30日	水彩連盟大分支部展	アートプラザ	水彩連盟大分支部
2月11日	平成16年度大分県合唱講習会	コンパルホール	大分県合唱連盟
2月13日	第12回大分県音楽団体協議会音楽祭	コンパルホール	大分県音楽団体協議会
2月	大分県庁職員吹奏楽団演奏会	音の泉ホール	県庁職員吹奏楽団
3月15～20日	第26回九州国画写真展	大分県立芸術会館	九州国画会
3月	大分ジュニアコーラス定期演奏会	NHKスタジオホールキャンパス	大分ジュニアコーラス

詳しくは主催団体におたずねください。



久留島武彦文化賞〈特別賞〉を受賞して

元大分大学教授 後藤 惣一

日本三大口演童話家、雄弁術家の一人として知られる久留島武彦は、大分県が誇る偉大な児童文化の開拓者であると言っても過言ではないでしょう。日本のアンデルセンとも呼ばれ、『子どもの膝の前の友達』として、口演童話を通し日本全国の子どもたちに深い感動と多くの夢を与えて来ました。久留島が残した業績には数知れぬものがあります。

平成8年から約8年間私は、先哲資料館の方々の協力を得て久留島が残した業績を発掘整理し、先般『大分県先哲叢書 久留島武彦 資料集1～4巻』（童話・講話篇）（講話術・話術篇）（童話論・教育・評論・随想・見聞録篇）にまとめて発刊しました。

その成果が認められ、「久留島武彦文化賞〈特別賞〉」を受賞することができたのです。これまで、子どもと関わりを持って来た私にとっては、最高の喜びです。そして、21世紀こそ児童文化の充実と、語り合うことの重要性を再認識した次第です。



創明音楽会九州支部のこと

創明音楽会九州支部 代表 田中愛子

「本会は宮城道雄を始祖とし、その音楽伝統を継承する者の集団であって、音楽文化の向上発展につくし、会員相互の親睦をはかるを、その目的とする。」と創明音楽会の会則に書かれています。私もこの精神を大切に考え、これまで20回近い演奏会を開催してまいりました。そしてその内3回を中幕行事とさせて頂きましたことは、本当に貴重な経験になったと思っています。

邦楽には伝統を継承して行くという一面があります。古くても、良いものは良いとしてそれを受け継ぐことは意味のあることですが、それには新しい力を加える必要があります。その為にも30年以上指導してまいりました大分大学邦楽部の活動にこれからも力を尽くして行きたいと思っています。

12月11日（土）、コンパルホールにおいて第27回分大邦楽部 定期演奏会を開催いたします。若い人達の邦楽の演奏を是非一度聴いて頂きたいと思えます。



平成13年8月19日 於国立劇場



世界遺産の継承のために

能を楽しむ会・谷村颯々会 代表 谷村育子

昭和23年の中津城能舞台での初舞台、宇佐神能出演に始まる55年間の活動を合わせ、昭和44年、能楽の愛好者を増やし、能を広める趣旨で会を発足させ、現在の「谷村颯々会」に至る。この間、より多くの人に能を鑑賞してもらうため、昭和60年、護国神社薪能を企画、「能を楽しむ会」を結成、第1線の演者を招きハイレベルの能鑑賞を続けている。

また、新聞社文化教室、能楽協会教室への支援にも尽力。平成9年からは若年層に能を理解してもらうため、大分高校はじめ10校で能鑑賞や講座を行っている。さらにフランス・アメリカ・ノルウェーなど海外との文化交流に参加し、世界に日本の文化を紹介してきた。

平成14年には観世流宗家演能「初心の会」設立。本年2月にはグランシアタにて500年振りの複曲「松浦佐用姫」、地元若手による「石橋」を公演した。一般のほか、21校の高校生を招いて鑑賞してもらい、新鮮な感想を寄せてもらった。これからも若い世代に「日本の心」を伝えていきたい。そして日本の誇る文化遺産継承に尽力したいと願っている。



能を楽しむ会
於平和市民公園能楽堂



丸山 四郎 理事 (大分市教育委員会生涯学習課)

心のゆとりと豊かさを求める成熟社会へと進展している今日、伝統文化や芸能、創造的な文化に対するニーズはますます高まってきております。市民一人ひとりが日常生活の中で文化と芸術の彩りと薫りが感じられることが、心の豊かさにも通じていくと考えます。

今秋、県芸術文化振興会議40周年記念事業が、多くの関係者の皆様の多大なご尽力により開催されることは意義深く大変素晴らしいことであります。

本市も、地域と密着した公民館等で「市民手づくりのミニコンサート」などを積極的に支援するなど市民と行政の協働による文化事業も進めているところです。私自身、微力ですが文化芸術の振興に向け努力してまいりたいと思います。

平成16年度役員名簿

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名
顧問	河野 彰		理事 (学識経験者)	山本 勝彦	大分県音楽協会
	仲町 謙吉			恵藤 美紀	大分県県民オペラ協会
	野崎 哲			野仲 矢山	大分県三曲協会
	秋月 睦男			上田 耕作	大分県軽音楽連
特別会員	菅 久			糸永 信義	大分県吹奏楽連盟
	大崎 聡明			後藤 滉霊	淡窓伝光霊流日本詩道会
	尾登 一信			安東 陽	大分県民謡連盟
	木村 成敏			宮本 修	大分県合唱連盟
	宮瀬香多士			花柳笹之丞	大分県日本舞踊連盟
	十時 良			伊坂 香里	大分県民踊連盟
会長	脇 正人			湯原 恭子	おおいた洋舞連盟
副会長	中沢とおる			清末 典子	大分県民演劇制作協議会
	小長 久子			河野 俊一	大分県高等学校文化連盟
	脇坂 秀樹			理事 (関連行政機関)	丸山 四郎
監事	首藤 悦爾			徳丸 義久	大分県立芸術会館
	麻生 和江			事務局	
常任理事	倉田 紘文		事務局長	安藤 啓士	文化振興課長
	中野 幸和		事務局次長	泉 幸親	文化振興課参事
	辛島 光義			久保木真人	大分県美術協会
	佐藤 朱音		事務局職員	田中 将章	文化振興課課長補佐
理事 (団体代表)	伊勢 方信	大分県歌人クラブ		後藤 忠宏	文化振興課主幹
猪俣 呑童	大分県番傘川柳連合会	池田 リエ		事務局職員	
平 晟齋	大分県美術協会(書道部会)				
河野 公記	大分県美術協会(写真部会)				
渡辺 恭英	大分県美術協会(日洋彫工部会)				



(財)UFJ信託文化財団から来年度助成団体の募集案内がありました。該当の団体には別途文書で通知いたします。

連絡先 097-536-1111内2057 担当 佐倉

応募資格 音楽、演劇、伝統芸能部門各部門のアマチュア団体
 応募期限 平成16年12月31日(消印有効)
 希望団体から直接財団あてに助成要望書等を提出
 助成要件 平成17年度に開催される公演、美術展であること等

助成金額 未定(平成16年度は49団体に対して総額2千万円程度)
 応募先 (財)UFJ信託文化財団事務局
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-3
 TEL.03-3218-0611 FAX 03-3201-2935

事務局だより

◆ 大分県民芸術文化祭

第6回大分県民芸術文化祭が9月26日(日)オープニングステージで幕を開けます。

本文でもご紹介しましたように、今回は大分県芸術文化振興会議40周年記念事業として、大分県芸術文化振興会議40周年記念・第40回大分県美術展、文芸講演会が開催されるほか、例年の開幕・中幕・閉幕をあわせて、総合芸術シアター「よみがえれ三浦梅園『玄語』の森」を公演いたします。

その他、期間中多くの行事が予定されておりますので、どうぞご覧ください。

◆ 提出書類について 提出期限10月29日(金)

- ・平成17年度補助事業計画書
 - ・平成17年度海外派遣研修者推薦
 - ・平成17年度芸術文化基金事業公演希望調査票
- 該当する団体は期日までに提出をお願いします。

◆ 会費納入のお願い

16年度会費の納入が済んでいない方は早めに納入してください。振込用紙(郵便局・手数料芸術負担)を紛失された場合は事務局までご連絡ください。

新 会 員 紹 介

■ 団体会員

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名	事務局長氏名	団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
文芸 9	こども俳句 豊っ子の会		斉藤 智	菊池 嘉昭	小・中学生の投句による俳句集「豊っ子」の発行	約1500名	昭和61年 9月創刊	毎月1回の俳句集の発行。平成16年4月で210号を数える。毎月投句者は1500名以上。投句は3000句以上。句集は県下の全小中学校などへ配布している。
音楽 92	豊の国 ゆふいん源流 太鼓		長谷川 義	河野 勝己	日本古来の伝統、民族文化である和太鼓と通して、個性豊かな地域づくりと、時代を担う青少年の健全育成に寄与することを目的とする。	25名	昭和54年 5月	発足以来、国内外で和太鼓コンサートを開催。2001年には全国和太鼓コンテストメンバー優勝。群馬県での国民文化祭オープニング公演、2002年ワールドカップ大分会場オープニング等年間約150公演を行っている。
音楽 93	白と黒		釈迦郡 誠	釈迦郡 聡美	ピアノ研究グループとしてより豊かな音楽体験を深めるために会員相互に協調し、努力することでひいては大分県の芸術文化の発展のために貢献したい。	13名	平成7年 8月1日	年2回の研究会、毎年12月20日前後に「冬のコンサート」を開催。また、会員のソロリサイタルを2回開催した。
音楽 94	GEN室内管 弦楽団を招く 会		釈迦郡 誠	釈迦郡 誠	GEN室内管弦楽団の結成目的に賛同し県内での同楽団の活動を応援し広く県内全域でのオーケストラ演奏に貢献すること。	7名	平成16年 4月20日	今年9月16日音の泉ホールにてGEN室内楽団とソリストたち in 大分を開催。また、直入町他の主催でGEN室内管弦楽団 管楽器カルテットによるボランティア演奏会(小中学生とのふれあいコンサート)を予定している。
演劇 17	劇団 吉祥じゅん& 女騎士		森田由美子	原尻 幸子	演劇公演を通じて地域文化に貢献したいと考えている。	7名	昭和61年 8月	大分を中心に福岡などで年2、3回の公演を行ってきた。2005年6月には大分と福岡で「北斎夢幻」を公演の予定。

■ 個人会員

氏 名	住 所	部 門	氏 名	住 所	部 門
安藤 啓 士			松岡 小 壽		美 術
山口 文 生		文 芸	後藤 惣 一		文 芸

お 知 ら せ

名刺台紙をお分けします

大分県芸術文化振興会議ではシンボルマーク入りの名刺の台紙を作りました。会員に、1000円(100枚、送料振込手数料込み)でお分け致します。

ご希望の方は下記事務局までご連絡ください。なお、加盟団体所属の会員の希望については各加盟団体事務局でとりまとめをお願いします。

